

学校特集

今月は普通救命講習を行った並木中学校、富岡東中学校と、並木中学校の生徒が幸浦消防出張所に職業体験で訪れた様子を紹介します。

並木中学校

並木中学校の3年生が普通救命講習を受講しました。

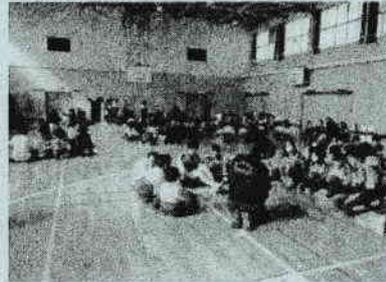
12のグループに分かれて、全員が心肺蘇生法とAEDの取扱いを行いました。自分の順番でないときにも、よく観察していて、疑問に思ったことを職員に質問していました。



富岡東中学校

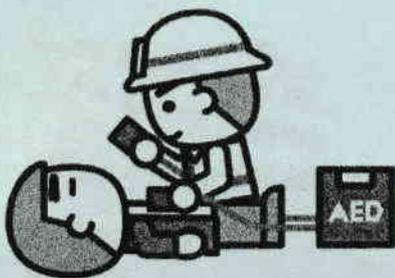
富岡東中学校でも普通救命講習が行われ、こちらも3年生が講習を修了しました。

胸骨圧迫や人工呼吸は見た目以上に難しかったという声もありましたが、熱心に取り組み、実のある講習となりました。



並木中学校(職業体験)

並木中学校から、職業体験で一人の生徒が幸浦消防出張所を訪れました。庁舎内や各車両の見学を行ったあと、職員が見守る中、幸浦救急隊の指導を受け、完璧な心肺蘇生法を身につけてもらいました。



「市民防災の日」金沢かわら版（3月号）

発行者：「市民防災の日」金沢区推進委員会

ぼうさいダック教室を行いました！

日 時：平成26年2月14日（金） 午前10時00分から11時00分

場 所：金沢区釜利谷四丁目29番4号 明德釜利谷保育園

内 容：明德釜利谷保育園では、平成26年2月16日に釜利谷消防出張所職員と一緒に「避難訓練」と「ぼうさいダック(※)」を活用した防災教育を実施しました。避難訓練では、ベルの音に怖がる様子もなく子ども達は落ち着いて、訓練を行っていました。その後ホールに移って、防災ダック教室。火事などの災害から日常に潜む危険な場面に遭遇した時を想定し、子どもたちが実際に体を動かし、声を出して遊びながら身を守る方法を楽しく元気に学ぶことができました。子どもたちからは「楽しかった」と大きな声が返ってきました。

これからも、子どもたちに安心・安全の最初の第一歩を楽しく学んでもらえる防災教育や防災訓練を実施していきます。

※ 防災ダックとは、火災や地震など災害時の「危険」が描かれているカードにあわせて、ポーズをとらせ、子どもたちが自ら危険回避行動をとれるようにする防災教育のことです。



ぼうさいダックゲーム



火事のとときはどうするか

金沢臨海部自衛消防組織の合同訓練

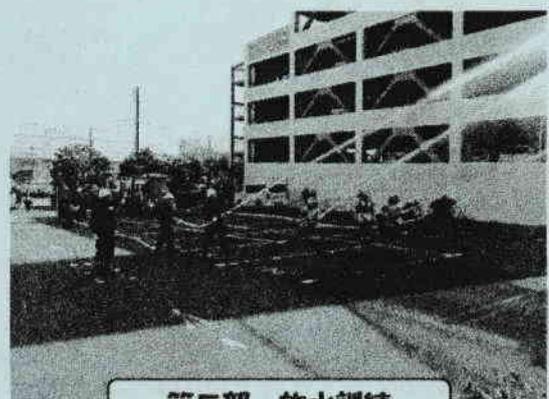
日 時：平成26年2月26日（水） 午前10時30分から11時30分

場 所：金沢区幸浦二丁目26番1号
横浜マーチャンドライジングセンター 組合会館及び駐車場

内 容：金沢臨海部の4地区の自衛消防組織が連携した消防総合訓練を実施しました。今回の訓練は、首都直下地震が発生したとの想定で、新たに整備された無線機を活用し、発災初期の各地区の情報を共有するとともに、連携した消火活動等を行いました。さらに、津波警報に対応した避難訓練も実施し、自衛消防組織相互の連携強化に熱心に取り組んでいました。



第一部 無線交信訓練



第二部 放水訓練